

令和8年1月6日

函館開発建設部

函館漁港周辺の街歩きワークショップの実施

～函館漁港を核とした函館西部地区活性化策の検討～

函館漁港を核とした函館西部地区の活性化を目指し、北海道教育大学・函館開発建設部などの産学官が連携して、若者主体のまちづくりを進める取り組みを具体化します。

これまで、地域の魅力や課題を「街歩き」や「関係者へのヒアリング」を通じて明らかにし、課題解決に向けた検討を重ねてきました。

第4回となる今回は、その結果に基づき、地域資源を活かした活性化計画の具体案を、各班でより具体化します。年度末に来年度実施する実証実験等を決定するにあたって、各班でこれまでの成果を発表し、学生の視点を活かした新しいまちづくりの方向性を共有します。

記

日時	令和8年1月12日（月・祝） 13時00分～16時00分（予定）
場所	北海道教育大学函館校 第6講義室（函館市八幡町1-2）
実施団体	北海道教育大学奥平ゼミ、函館開発建設部函館港湾事務所 ほか
実施内容	①3チームに分かれてプロジェクト案を検討（13:00～15:20頃） ②各チームの発表（15:20～16:00頃）

本取組は、今後も北海道教育大学奥平ゼミ、北海道開発局・地元建設業者等の若手技術者を中心に月1回程度のペースで集まり、民間企業の協力も得ながら「海業※の振興」を中心に地域活性化のための課題解決に取り組んでいます。

※海業：海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの。水産庁が進める取組（[海業の推進：水産庁](#)）

■取材を希望される報道機関の方は、1月8日（木）までに以下の問合せ先までお知らせください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

函館港湾事務所 所長 三岡 照之 (0138) 41-4156

第2工務課 宮井・工藤 (0138) 41-6567

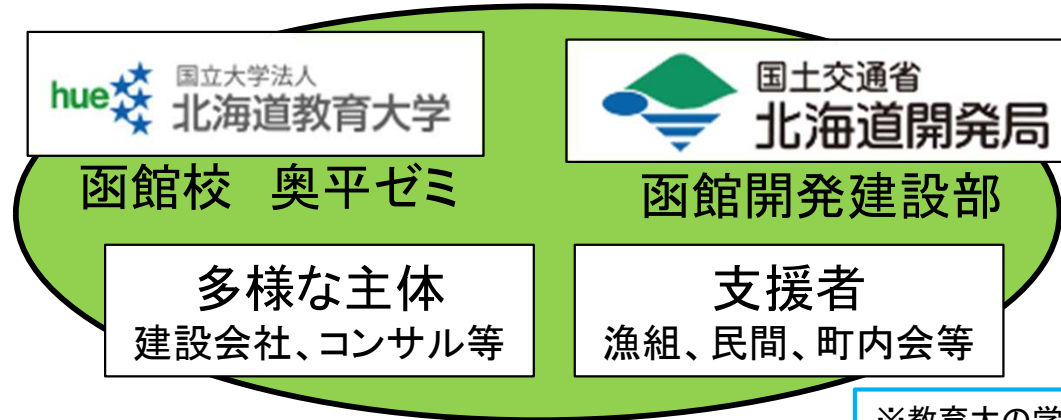
函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>

函館開発建設部公式X（旧Twitter） <https://x.com/mlit.hkd.hk>



函館漁港活性化プロジェクト

「函館漁港を核とした函館西部地区の活性化方策」を産学官連携し、
若者※が月1回集まって街歩きをしながら検討、課題解決を目指す
チーム



北海道教育大学・北海道開発局が事務局を務めながら多様な主体が連携し、検討の輪を広げていく



※教育大の学生
+ 社会人1～5年目



令和8年度

(アイデアのプロジェクト化)

- プロジェクト化に向け組織体制の構築
- 補助事業等の獲得
- 実証実験
- より具体策の検討

第1回 (函館漁港・漁港事業を知る)

10/26(日) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00

- 目的の確認
- 現在の漁港事業の各種制度を知る
- 函館漁港を知る

第2回 (11/16) (プロジェクトの種、課題を探る)

- 函館漁港背後地域を知る

第3回 (12/14), 4回 (1/12) (課題の解決策検討)

- 課題解決のためのアイデア出し
- アイデア実現のための戦略検討

第5回, 6回 (アイデアの選定)

- 次年度活動に向けプロジェクト化するアイデアを1, 2選定する

これまでの経緯と今後の予定

第1回(10月26日)

函館漁港・漁港事業を知る



午前は函館漁港内の施設を見学(左)、午後は市内の漁業者や関連産業従事者に地域の現状をヒアリング&意見交換

第2回(11月16日)

背後地域の街歩き＋意見交換



函館どつく前～山背泊集落を街歩きし、活性化の方向性を意見交換(左:函館どつく倉庫 右:旧検疫所跡のカフェ)

第3回(12月14日)

SWOT分析を使ったアイデア出し



SWOT分析(右)を用いて函館漁港周辺地域の強み・弱みなどを整理した後、それらを生かせるプロジェクト案を検討

今後の予定

第4回 (1月12日)

各班案の具体化、
実証実験に向けた計画づくり

令和7年度末迄

実証実験計画決定

令和8年度

実証実験開始＋プロジェクト化検討